No. 12　2009.3.1

歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
ホームページ http://homepage3.nifty.com/kokaido/
事務局 〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘4-36-21 APT1・2・3-302
TEL/FAX 042-389-5534
宮田太郎（歴史古街道団 団長）

関東最古級？ 厚木で発見の前方後円墳 団員による大調査開始へ

未知の古墳が眠るヤマトタケル伝説地、厚木・小野の里（写真右）と高松大明神がある高松山頂上付近
2008年5月撮影

“ふるさとに残す歴史のあしあと”

360度・大展望の丘の山頂 仮称「愛名（あいな）・高松山古墳」

歴史古街道団・団長　宮田太郎

相模の主峰「大山」の麓である神奈川県厚木市愛名（あいな）の高松山（標高 146.5M）」山頂で、今から9年前の2000年2月の単独踏査で関東最古級？の前方後円墳とみられる遺跡を確認していましたが、念願の現地調査がようやく実現します。実施するのは歴史古街道団の「古代遺産調査班」と団員有志。この古墳の価値を調査探究し、貴重な文化遺産として後世に残し、出来る限り地元のかけがえのない財産として“活用”させるための道が開かれることを願っています。

地元ならではの大切な遺産を後世に残し活かそう！

厚木市内の小野周辺は以前より前期～後期の古墳群が存在することで知られ、形象埴輪出土の登山古墳や、地頭山古墳、岡津古久古墳ほか市内全域には多くの古墳があります。中でもここハイキングコースで知られる高松山の山頂にもし本当に前方後円墳があることが今回の調査で判明したなら、逗子海岸の桜山古墳同様、極めて珍しい山頂古墳となります。また自説「「高麗若光ライン」と呼ぶ大磯高麗山と埼玉県日高市の高麗本郷を、南北直線状に結ぶ「関東山辺の道測量基軸線」の観測中継点＝測量台として飛鳥時代に再利用もされたとすると、極めて貴重な遺跡となります。厚木市民、県民、国民すべての誇りとして残し、活かされていくならば、一歩でも前進させる価値があるでしょう。会員・賛同者みなさまの積極的なご協力、ご参加をお願い致します。

☆どなたでもご自由にご参加ください。

■現地・事前踏査ウォーキング

▪4月12日（日）9：30、小田急線「本厚木駅」中央改札口前集合（詳細は3ページ参照）

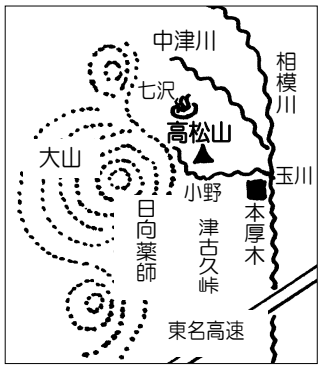
■仮称：愛名・高松山古墳　実地測量会

▪5月5日（火・祝）9：30小田急線「本厚木駅」中央改札口前集合▪5月6日（水、祝）13：00現地集合（詳細は3ページ参照）

■古代遺産調査班員・募集開始！

このたびの測量調査に合わせ、まだあまり知られていないような隠れた古代遺跡や文化遺産の調査研究を進める分科会「古代遺産調査班」が立ち上がります。日頃から古代史ロマンに興味がある方、ぜひご参加下さい。

☆お問合先／歴史古街道団・事務局☎042－389－5534



№12

厚木・高松山古墳を探る

春から夏の歴史ウォーキング

宮田太郎団長と行くロマン紀行

■４月 12 日（日）

厚木で発見？！高松山･前方後円墳大調査①

神奈川県厚木市愛名(あいな)の
高松山古墳と甲州武田家臣･跡部氏館

【内容】1998年にハイキングコースで郷土史家によって埴輪片が拾われたことで発見され、国の指定史跡になった神奈川県逗子の桜山古墳（県内最大級の2基の前方後円墳）のように、南関東の前方後円墳は“まだ山の上に残れり”なのではないか。

単独踏査を開始した2000年2月、相模大山の麓、神奈川県厚木市愛名（あいな）の高松山山頂で古墳への参道？の硬化層を確認。そして山頂に近づくにしたがい、まるで山の上に載せられた軍艦のようにそそり立つ人工地形が見えたときは胸は高鳴り、山頂で遂に歓喜の声をあげてしまいました。その思い出の日から早や９年。忘れえぬ感動をそのままに、確認？したのかもしれない 360 度大展望の山頂に位置する「前方後円墳“仮称：愛名･高松山古墳”」の測量調査（5 月 5･6 日）や周辺調査（4 月～）を開始します。また後の飛鳥･奈良時代には都市設計（謎の高麗若光･北辰ライン）の基準となる測量台にもなったのではというロマンを検証していきます。地元と協同で地域の大切な文化財を「保全、活用」するために何が出来るかを皆さんと考えるいい機会です。皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

【コース】小田急線「本厚木駅」中央改札出て左の広場に9：30集合～路線バス～厚木市毛利台～吾妻神社～中愛名・妙昌寺（甲斐武田氏の家臣･跡部氏の館跡）～諏訪神社～愛名緑地（各自持参、弁当昼食）～高松山（推定古墳全体を観察）～高松山ハイキングコース～小野小町神社（頼朝の内妻・丹後局伝説～小野神社～路線バスで本厚木駅。約５キロ。＊小野小町神社は女性の髪の毛を元気な黒髪にしてくれる不思議な伝説のあるパワースポット。ぜひお参りしましょう。

ウォーキングの共通参加事項

◆参加費＝団員700円（ご夫婦は２人で 1,000 円）
一般は1人 1,000 円。
◆持ち物＝雨具、飲み物持参。昼食は飲食店利用の場合と各自弁当の場合がありますので詳細は各案内参照。
◆雨天の場合は基本的には中止（ただし小雨の場合実施することがあります。朝7：30までに実施の有無をお問い合わせ下さい。
【お問合先】宮田団長の携帯電話 090-7002-3431 まで

■４月 22 日（水）

厚木で発見？！の高松山･前方後円墳大調査②

厚木の古墳を知ろう！
“天神山古墳と登山（どうやま）古墳”編

【内容】厚木市内にはかつて 350 もの古墳があったといわれています。関東は関西に劣らぬ最古級の古墳群があり、相模国（神奈川県）には三角縁神獣鏡が出土した平塚の真土大塚古墳、川崎の加瀬白山古墳がありました。また厚木や伊勢原にも前期古墳時代4世紀の大型古墳やそれに続く中期･後期古墳群があることも知られています。高松山の古墳の実像を探るためにも周辺の古墳を探っていきましょう。今回は大型円墳と相撲取り（関取）埴輪の出土で知られる古墳を巡ります。

【コース】小田急線「本厚木駅」中央改札出て左の広場に9：30集合～厚木市立郷土資料館見学～国道 246 付近のファミレスほかで自由昼食～戸室の浄雲寺～天神山古墳～林神社～福伝寺～王子稲荷と王子神社～登山古墳～小鮎川千頭橋～千光寺～路線バスで本厚木駅。約６キロ。

■5 月 18 日（月）

『黒川の毘沙門堂と汁守･飯守･菜守神社の謎』

【内容】武蔵国府大国魂神社の暗闇祭りの際に神前に備える飯･汁･菜の三種の食べ物を調整した人々に関わる三社の伝説と謎に迫り、義経の四天王の一人、亀井六郎に安堵された土地が武蔵国府の国領であった可能性、飛鳥から来た古代測量師の里のロマンを探っていきます。

【コース】小田急線黒川駅改札口前10：00集合～古代郡役所道（武蔵国府から金沢八景・六浦湊への古代官道）～黒川分教場跡古道～汁守神社～自由昼食（地元野菜物産マーケット・セレサモスや、ファミレス、コンビニで）～毘沙門大堂と金剛寺跡～武田兵糧庫跡～真光寺・飯守神社～観泉寺～ウチデ・カシヤ～尾根の鎌倉街道早ノ道と伝・上杉館跡～大展望の古街道～義経四天王･亀井六郎伝説の亀井坂～栗木御嶽神社～小田急多摩線「栗平駅」。約６キロ。

■６月６日（土）

初夏の清流をゆく歴史フットパス

道保川の湧水地と亀ヶ池八幡伝説を歩く
〔相模野〕

【内容】相模原のハケ（崖）は大昔に相模川が暴れながら侵食していった跡。今も道保川、姥川、鳩川の三流が並行して相模川まで流れていきます。中でも豊富な湧水源で知られる道保川は清らかな水流が森の崖の深い地層から吹き出し、広がった水面の中を木道で散策できる穴場。かつてはクレソンや山葵（ワサビ）の生産も行っていた十二天神社の「おみたれみず」から、城山･川尻八幡～北相模･亀ヶ池八幡～鎌倉･鶴岡八幡と続いていた謎の「獅子道」や和田義盛伝説、小栗判官と照手姫伝説地などを辿って歩きます。

【コース】ＪＲ横浜線「相模原駅」改札口前に9：45集合～路線バスで浄水場～十二天神社～道保川流域～馬の牧場～道保川

公園（弁当昼食）～丸崎の「かぎの手」～姥川～亀ヶ池八幡宮～和田坂～藤橋～横山古道～横山台の照手姫伝説地～ＪＲ相模線「上溝駅」。または路線バスでＪＲ相模原駅。

■７月１日（水）

厚木の古墳を知ろう！

“地頭山古墳・愛甲大塚古墳”編

【内容】南関東に広がる古墳地帯“厚木”。その中でも古い時代の大型三古墳を現地に訪ねます。地頭山古墳も愛甲大塚古墳（石田車塚）も小金塚古墳も、みなかつての広い湾であった相模川河口域を見渡せる河口湾域古墳です。

これから調査する愛名の高松山は奥座敷とすると、これら三つの古墳はそこに至る入口の古代河畔集落エリアに存在。ヤマトタケルが火責めの難に遭い、草薙の剣を振い、火打石で迎え火を放った神話世界の伝説地の入口にもあたります。防人の道・古代東海道や、町田・多摩・府中にある小野神社と厚木の小野神社を一直線に結ぶ古代の東西日本の交通幹線道路が通る歴史ある里を探ってみましょう。

【コース】小田急線「本厚木駅」中央改札口を左に出た広場に9：45集合～路線バスで船子～地頭山古墳～古代東海道と八幡神社～本盛寺～玉川～国道246号線沿いのファミレスなどで自由昼食～愛甲大塚古墳～大山街道～子安神社～円光院～小金塚古墳～塚堀公園の高台と古街道跡～愛甲石田駅。約６キロ。

歴史咲く里みち・フットパスガイド養成講座

学習会Ⅰ　7月22日（水）

☆テーマ「歴史古道フットパスと地域コミュニティー」
～期待される歴史古道ガイドリーダー
＆コーディネーター養成に向けて～

学習会Ⅱ　8月20日（木）

☆テーマ「“里みち”から始まる
大人の豊かなる嬉し楽し遊び術」

【時間】13：30～15：30　【会場】多摩市の公民館を予定
【講師】宮田太郎　　【参加費】500円（資料代）

【内　容】2009年２月７日、東京都町田市から産声を上げた日本フットパス協会（会長：町田市長。事務局長：神谷由紀子氏）は、北海道や山形県、山梨県などから市長や関係者も加わり発足。実質的な活動が開始されました。

地元との交流を第一に考えたフットパスは、里山にまで恒常的に歩く人が流れる新しいフットパスシステム。エコな思考や環境への関心、里山保護や農業興隆の思想、歴史遺産である遺跡や史跡、古道、石仏や伝承地の保全や活用、観光や物産交流など様々な観点で思考・行動するガイドリーダーやコーディネーター、コミュニケーターがいま求められています。将来、ガイド（有償）として全国への普及に努めて下さる方、必見講座です。お気軽にご参加ください。

北海道フットパスの集い　IN　上富良野　*参加ツアー*

歩こう北海道！上富良野フットパスの道

2009年8月29日（土）～30日（日）1泊2日
（出発は前日28日（金）の午後となります。）
※詳細は次号でお知らせします。

ゴールデンウィーク特別企画

■５月５日（火・祝）・６日（水・祝）

古代測量台ロマン！！
高松山古墳　大調査会

【内容】5日・6日の2日間、『仮称：愛名・高松山古墳』の測量調査と交流親睦会を行います。どなたでもお気軽にご参加ください。また参加者はオリジナルの報告書にお名前が永久に載る予定です。世紀の？遺跡調査会には弁当持参でご参加下さい。

●5／5（火・祝）　現地測量実測1日目
「小田急線・本厚木駅」中央改札口を出て左の広場に9：30集合～路線バスで毛利台団地～徒歩で宮地～愛名・妙昌寺～愛名緑地（昼食）①歴史解説と測量方法の説明会　（午後）②高松山～山頂にて測量会開始～16:00撤収～路線バスで本厚木駅または愛甲石田駅。
＊参加費＝（団員・一般共に資料代500円）
（厚木には温泉宿泊施設もあります（七沢温泉・飯山温泉ほか）

●5／6（水・祝）　13：00現地集合・調査開始
現地・高松山にて測量会2日目（終了15：00）
測量終了後、山頂にて交流会～解散は16：30頃。
＊参加費＝無料
◎両日の連絡先：☎090－7002－3431（宮田団長）

＊～＊～＊～＊～＊～＊～＊～＊～＊

歴史咲く里みち*交流ツアー*
2泊3日　伊豆大島　編

為朝神社

■7月10日（金）～12日（日）

「伊豆大島の鎮西為朝伝説と“あした穂”咲く島・大探検」

【内容】伊豆大島は古代の黄金が含まれた祭壇が発見され、今でも縄文遺跡や神秘の神社、鎮西為朝（源為朝）の館跡や海岸崖に露出した遺跡、役小角の行者窟や砂漠の古道が眠っています。地元と歴史古道＆うまいものフットパスをやろうということになり、交流親睦会を兼ねて知られていない伊豆大島の深い魅力を探っていきます。精力がつく漢方草で知られる明日葉（あしたば）は、まだ葉の開かない穂の段階で食するのが地元式。愉快な島人との交流を兼ねたスローライフ実践型ツアーにご参加下さい。

【コース】小田急線＆ＪＲ小田原駅ならびに熱海駅集合（集合場所2か所）～高速フェリー（約1時間）で大島へ。

【2日間の主な予定】元町の赤門と鎮西為朝の館跡と古戦場遺跡、七人様伝説地、椿ロードと縄文遺跡、行者窟、あした穂摘みと海の味わい食事会、御神火史跡めぐり、神秘の三原神社や波布姫伝説の波知加麻神社、大展望温泉など、興味尽きない島で大いに遊びます。宿泊は２泊とも島内の民宿というリーズナブルで安心なツアーです。

※料金や詳細チラシは4月初め頃に出来ます。お早めに古街道団事務局までお問い合わせください。
【お問合先】042－389－5534

(財)東京市町村自治調査会

武蔵国衙跡から出発

さきもり(防人)まつり2008

2008年11月23日(日・祝)晴

武蔵国衙跡での出陣式

歴史古街道団は第4回目となる“さきもり[防人]まつり2008”～万葉時代・古代東海道ウォーキング～を2008年11月23日(日・祝)開催しました。歴史古街道団の目指す「歩く」・「学ぶ」・「楽しむ」・「創造する」のコンセプトのもと、約6ヶ月にわたる事前検証ウォーク、事前学習と準備を経て開催したもので、当日は快晴の勤労感謝の日とあって参加者139人、見物者を含めた来場者は200人以上でした。

まつりの輪も年々広がり、今回は府中市教育委員会と多摩市教育委員会の後援を得ることができ、また多摩らいふ倶楽部、NPOみどりのゆびの協力、(財)東京市町村自治調査会多摩交流センターの助成事業として実施しました。

☆武蔵国衙での防人出陣式

今年の新規事業は出陣式。府中市史跡として復元整備された武蔵国衙跡で古代の衣装を身にまとった国司、大伴家持、官人(防人部領使)等を前に防人の出陣式が往時さながらに勇壮な雰囲気の中再現された。国衙跡の使用には府中市文化振興課の全面的な協力を得て、博物館展示の古代衣装を着た文化振興課の方々にも出演していただいた。

☆防人の歩いた道をたどる

大国魂神社から多摩よこやまの道「万葉・さきもり見返りの峠」まで、恒例のウォーキングは好天にめぐまれ、分倍河原・中河原の古道跡から多摩川を渡り、連光寺～高西寺～打越山遺跡を経て昼食。午後は美しく紅葉した樹々の下を防人とその家族も加わって粛々と、また楽しい雰囲気で散策がおこなわれた。万葉・防人見返り峠での防人別れのシーンは、まさに夕陽が落ちんとする残照の中で演じられ、哀感と厳粛さが見る者の胸を打った。その様子は2009年1月8日の読売新聞全国版に「平成万葉の旅」として掲載された。

☆大谷戸公園でのイベント

まつりのメイン会場・多摩市立大谷戸公園では防人とその家族が勢揃いし、ウォーキング参加者全員にその姿を披露した。今回初めて実施した野外ライブでは、新進歌手「しまだ・あや」さんにより、“古代の記憶”ほかが歌われ、透き通るような歌声に魅了された。おいしい甘酒・多摩の昔野菜・歴史古街道団団員手作りの“布ぞうりの店”をのぞいたりしながら、楽しく昼食の時間を過ごした。

事前学習会＆ウォーキング

◆学習会「万葉集東歌・防人歌の世界」

2008年11月3日(文化の日)関戸公民館で、府中市郷土の森博物館 学芸員 小野一之さんに 『万葉集防人歌から見える東国の風景と当時の人々の心情について講演をしていただき、有意義な話に参加者一同万葉の時代に思いを馳せた。

☆参加費=団員/500円、一般/700円 ☆申込不要 ☆弁当・雨具持参

●3月10日(火) ❒ハケの道歴史探訪シリーズ-Ⅲ

ロマン溢れる古代南武蔵を訪ねて

ガイド:佐藤文俊(団員)

【内容】多摩川下流域北岸の台地上には、世田谷区野毛から大田区田園調布にかけて、4～5 世紀前半築造の大型墳丘約50基が連なっている。その頃の南武蔵は大和王権の支配が未だ及んでいなかった。日本書紀の安閑天皇元年(534)の条に記載の「武蔵国造の争乱」の地は、ここ多摩川下流域と云われている。果たして、この地を治めていた在地豪族の王とは誰だったのか、そしてその王の墳墓はどれを指すのか……。古代南武蔵の溢れるロマンを求めて荏原台と多摩川台の古墳群を訪ねます。

【コース】東急田園都市線「二子玉川駅」改札口前9:00集合～兵庫島～丸子川～野毛大塚古墳～等々力渓谷～昼食(弁当)～御岳山古墳～狐塚古墳～八幡塚古墳～八幡神社～宝莱山・亀甲山古墳～東急東横線多摩川駅解散(15:30頃)約7.0km

連絡先:佐藤文俊(☎042-373-3193)

☆1月31日(雨天中止)の振替ウォーク☆

●3月14日(土) ❒筑井(津久井)紀行-Ⅶ

三代北条氏康の初陣・小沢が原合戦の跡を探る

『寿福寺～小沢城編』 ガイド:横田泰次(団員)

【内容】小沢城は大永6年(1526)から享禄3年(1530)にかけて二代北条氏綱から三代氏康への継承を控えて扇谷上杉氏と戦った合戦場です。このときの戦いを小沢が原の合戦と言い、後北条氏の北西武蔵進攻の足掛かりとなったと言われています。多摩丘陵の古戦場を巡り往時を偲びます。

【コース】京王相模原線「稲田堤駅」北口改札口前9:30集合～多摩川～子之神社～法泉寺～薬師寺～寿福寺～昼食(弁当)～小沢城址～穴沢天神社～京王よみうりランド駅(15:30頃解散)

連絡先:横田泰次(☎042-377-2539)

●4月4日(土) ❒ハケの道歴史探訪シリーズ-Ⅳ

三ノ宮の御旅所と武蔵国府が誘致？豪族の謎を探る

ガイド:佐藤文俊(団員)

【内容】古多摩川が削り残した都会の小山「浅間山」の麓に静かにたたずむ「人見稲荷」。この鎮守は三ノ宮(大宮氷川神社)の御旅所であったと云われている。何故に那珂(埼玉

多摩交流センター助成事業

防人見返りの峠でお別れ

万葉時代・古代東海道ウォーキング
今回も盛大に終了！

防人と妻の涙の別れ
『讀賣新聞』二〇〇九年一月八日掲載写真

◆古代東海道検証ウォーク多摩よこやまの道から更に南へ

①野津田・上野原ウォーク／2008年10月13日(月・祝)

古代東海道の町田市域の道を探るべく古道集中地である野津田上の原から「防人見返りの峠」までの道を歩いた。宮田団長から「神奈中バス野津田車庫あたりが位置的に奈良時代～平安時代の駅家（うまや）があってもいい場所」と興味深い話があった。

②勝坂丘陵ウォーク／2008年11月13日(木)

古代東海道が相模野や相模川をどこで越えたかを探るべく、古淵から大野台に続く林の中の行者道のくぼみ、勝坂宿の石楯尾神社（磯辺城の本当の位置と推定）などを訪ね、勝坂の縄文遺跡湧水源・有鹿明神祠を歩いた。丹沢の山並みに沈んだ夕日に感動。その昔、防人たちも眺めたであろうか。

多摩地域全住民の歴史イベントに

さきもりまつりは、少しずつだが多摩地区全域のイベントとして認知されてきた。08年11月23日に実施した第4回・古代東海道ウォーキングの分析で昨年同様の結果が出た。

当日参加者は139人で性別は男82人(59%)、女57人(41%)と女性の参加率がやや減少。

団員と一般参加者の比率は団員40%、一般が60%だった。

住所地別では、トップが出発地点の府中市29人(21%)、次いで解散地点の多摩市24人(17%)、町田市12人(9%)、稲城市8人(6%)、八王子市8人(6%)、国分寺市5人(4%)の順でコース周辺市民の多いのが目立つ。

他は広く多摩全域から参加しており、合計で多摩地区住民が101人(73%)、23区内からも6人参加で東京都民は107人(77%)。他県は27人(20%)で隣接の神奈川県相模原市14人、川崎市7人、群馬県高崎市からも1人参加されている。

<反省> 前年(07年)はパルテノン多摩の記念パレードが事前宣伝になったが、08年は立ち上がりが遅く、協力スタッフや防人出演者の募集呼びかけも遅れ、更に事前広報にも手落ちがあったため、参加者も昨年(230人)を下回る結果となった。この反省から09年度は3月頃から企画検討に入る計画です。

防人の歌（万葉集より）

父母（ちちはは）が　殿（との）の後（しりへ）方の　百代草（ももよぐさ）
百代（ももよ）いでませ　わが来（きた）るまで

巻二十・四三二六　生玉部足国

父上、母上、屋敷の裏の百代草が長く咲き競っているように百代まで長生きしていて下さい。私が戻って来るまで。

この歌は「天平勝宝七歳乙未二月、相替わりて筑紫に遣はさるる諸国の防人等の歌」と題して収録されている七首の歌のなかの一首。学習研究社発行『万葉びとが愛した名歌に咲く花』より

九州往期三年の赴任だが防人が故郷の土を再び踏むことはほとんどなかった。永遠の別れを覚悟した切なさが滲んでいる。父よ母よ待っていて下さい…。百代草は野菊の一種。

（遠）

県）を本拠とする人見氏が他領に進入出来たのか。そして、三ノ宮に係る国造・兄多毛比の謎……。山裾を通る「人見街道」と野川湧水で生活した古人の足跡を追想します。

【コース】京王線「東府中駅」北改札口前 9:00 集合＝バス＝浅間山公園～浅間神社～人見稲荷～多磨霊園～武蔵野公園～美術の森～野川公園（昼食・弁当）～近藤勇生家跡・龍源寺～出川横穴墓～古八幡社～天文台古墳～天文台バス停＝バス＝京王線調布駅解散（15:30頃）約9.0km

連絡先：佐藤文俊（☎042-373-3193）

●5月23日(土)
『蝦夷地に渡った文翁和尚の津久井光明寺を訪ねる』

ガイド：小林清三（団員）

【内容】武田信玄は三増峠の戦いで勝利した後、津久井路（信玄道）を通って甲斐に向かった。途中、青山の光明寺に「提の借用」を断られたという理由で火をかけ全焼させ、武田軍はその火明りで行軍したと伝わっている。その光明寺の第12世住職・文翁和尚の時（文久元年 1804）、幕府の命令により、東蝦夷・厚岸（あっけし）に官寺を創設することになった。難辛苦の末、景雲山国泰寺（こくたいじ）を開山し、今に残る。今回のウオーキングは、文翁和尚ゆかりの地を訪ねその足跡を偲びつつ、山里の津久井路を歩きます。

【コース】JR横浜線「橋本駅」改札口前 9:30 集合＝バス＝六間入口～光明寺～青山神社～千部塚～信玄道～富士塚～津久井城パークセンター（昼食・弁当）～城山登山入口～八幡神社～湘南寺～小倉橋～**久保沢バス停解散**（16:00頃）

連絡先：小林清三（☎090-6516-8161）

●6月20日(土)
木曽宿に古代東海道夷参道と御尊櫃御成道を探る

ガイド：中丸三次(団員)

【内容】東京都町田市の木曽は続日本紀にも記された古代の東海道の道筋にあたり、家康の遺骨を運んだ頃には少なくとも宿場が形成され一里塚もありました。南北に形成されていた宿の姿を検証し、境川の古代からの渡河点や江戸時代の家康の柩（ひつぎ）搬送の道などを探っていきます。

【コース】JR横浜線「古淵駅」改札口前 9:30 集合～谷淵の井出の沢古戦場～磯辺道（古代東海道夷参道・当麻道）～下の宿～一本松～木曽宿（昼食・弁当）～観音堂～福生寺～中里橋～一の窪～鎌田坂～図師バス停付近で解散予定。約5km。

連絡先：中丸三次（☎042-676-3724）

現地調査報告

冬至の夕陽が示したミステリーライン

遺跡を訪ねたとき、古代人がどのような気持ちでこの風景を見ていたか…そんな想いにかられる。洋の東西を問わず、古代人は冬至の夕日に特別の願いをこめて太陽の再生と自然の甦りを祈ったのか、実際に大事な遺跡や遺構は冬至ライン上に多く存在する。多摩地区では冬の極みの夕日は丹沢山塊の主峰・蛭が岳に沈む。これは、中丸調査部長が08年12月冬至日、田端環状積石遺構、稲荷塚古墳、多摩ニュータウン72号遺跡の3地点から冬至夕陽の観測調査を行った報告である。

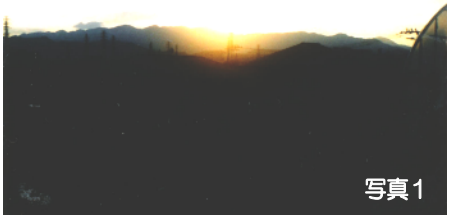


写真1

田端環状積石遺構からの落陽

冬至の夕、丹沢連邦の最高峰蛭ヶ岳への落陽を田端環状積石遺構(町田市小山町)から眺め、翌日、この延長線上にある稲荷塚古墳(多摩市百草)から蛭ヶ岳への落陽を観察(写真 1)し、歴史古街道団々報 No. 4 に報告した。

この田端環状積石遺構は、縄文後期から晩期中葉まで長期に機能していたと考えられている。祭祀的、宗教的なものか墓地的な性格のものか確定されていないとのことであるが、我孫子昭二氏によれば、隣接する住居址が一、二軒のみであることから、近郊各地に散らばって生活する集団が先祖を祀る宗教的な拠り所とした聖地だったのではないかと推測している。

稲荷塚古墳からの落陽

稲荷塚古墳(日野市百草)は、朝鮮様式の特徴をもつ積み石工法で造られ、石室の形が胴張りと言われる形式の八角形の古墳で、七、八世紀にかけて天皇陵だけに使われた古墳と考えられ、有力豪族か渡来人が被葬者と見られている。

写真2

蛭ヶ岳山頂への落陽を追って

冬至の夕陽に捧げた祈りの場だったか？

調査研究部　中丸三次

多摩ニュータウン72遺跡からの落陽

多摩ニュータウン No. 72 遺跡(八王子市堀之内・写真 3)には、縄文中期の大規模な集落があり、274 軒の住居跡が広場を中心にした楕円形で囲まれた形で発掘され、主な発掘遺物は旧石器から縄文初期の土器、古代の住居跡などであるが、特筆すべきは、この集落からヒスイ4点と黒曜石 16kg が出土し話題となったことである。

この遺跡での蛭ヶ岳山頂への落陽は観察していないが、田端環状積石遺構、稲荷塚古墳を結ぶ線上(図 1 の太線)に位置するので、ここからも落陽が望めるものと考え、方向コンパスを用いて測定を行ったとろ山頂を望む此処から蛭ヶ岳に沈む夕陽を観測出来れば、時代は異なるが、同一の信仰を持つ人々の長が葬られている古墳もあるのではないかとの思いから、多摩市の稲荷塚古墳からの落陽を観察(写真 2)した。一日過ぎとは言え、丹沢山系のなかで一際目立つ蛭ヶ岳の右肩に落陽を見た。太陽の威力が最も衰え復活する冬至の日に、降りかかる災いを避けるために霊峰への落陽に一族の繁栄を祈り、死者には蘇りを願って祈りを捧げたのではないか。

方位角は前記 2 遺跡同様 242 度であった。これらの遺跡には年代的に数千年の差があるが、太陽の甦りを願う祈りは、時空を越えて古代より「太陽の甦りを祝う」祭祀として伝えられ、現在、「一陽来復」という形で民間信仰に引き継がれているのではなかろうか。

『続日本紀』にみる冬至

冬至の日とはどんな日で、どんな祭祀が行なわれていたかを『続日本記』から拾ってみると、初出は、聖武天皇の神亀二年(725)十一月十日の項で、「天皇は大安殿に出御し、官人から冬至の賀辞をうけられた。親王や侍臣らは、ふしぎななぐさみ物や珍しい食物を持参し、天皇に進上した。そこで天皇は文武百官の五位以上、および諸宮司の長官や、大学の博士たちを召して終日宴会を行い、歓楽を尽くして宴をおわった。後略」

宇治谷　孟著『続日本記』全現代語訳　講談社学術文庫(上)270 頁

また、延暦六年(787)十一月五日の項には、その祭文に、「まさに今、太陽が最も南に達して(冬至)長い影が初めて伸びています。ここにうやうやしく燔祀の儀式を行い、謹んで天の徳に報いる式典を行います。謹んで玉や

手伝いにゆく近所、親戚の人々も縄をもってゆく。このことは帳面を作って記録して置き、又この人達の屋根替えの時返すのである。

屋根葺きの職人さんは真っ黒になって大変な作業なので、仕事が終えると風呂を立てたり酒肴の用意をしてもてなしたのであるが、今はこの技術を伝える人も少なくなってしまった。

（平成十二年発行）

【著者紹介】

井上正吉。大正8年生れ。多摩市関戸在住。現在も元気に田や畑を耕し、短歌・俳句を詠み、謡曲を習う。主な著書は『吉富の村人たち』『多摩の語りべ』『多摩の民話』『野翁小咄』など。

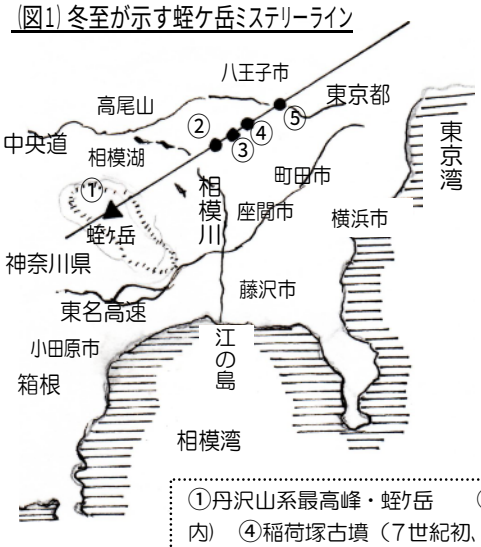
絹、いけにえの肉、器に盛った穀物などの品を揃え、以て天帝の祀りに備え謹んで高潔な誠の心を捧げます。高紹天皇（光仁)を昊天上帝に合祀して祀ります。」 同(下)390 頁

このように、天の神を交野の地に祀った。いわゆる郊祀(こうし)である。郊祀とは、皇帝が冬至の日に都の南郊の天壇において先祖と昊天上帝(宇宙創造の神)を祀る古い仕来りであったと言われる。

また、冬至とは夜と昼を陰と陽に分け、陰の極まった日、これから陽が次第に服する日「一陽来復」または「一陽嘉節」としてめでたい日とした。

このように古くから太陽の蘇生を祈る信仰であり、冬至の始まりに合わせて、郊外の丘で天を祭る大礼を行っていたと考えられるのではないだろうか。

(図1) 冬至が示す蛭ケ岳ミステリーライン



「さきもりまつり2008」写真展開催

2/24(火)～3/1(日)
10:00～18:00 (最終日 17:00 まで)
会場/多摩市・関戸公民館ギャラリー
京王線・聖蹟桜ヶ丘駅西口から徒歩 3 分

●写真コンテスト応募作品展示
●記録ビデオ上映(さきもりまつり 2008)
●「歴史古街道団」2008年の活動紹介
●企画展示「冬至日が示す蛭ヶ岳ミステリーライン」
●特別上映／鞠智城物語「防人たちの唄」
出演/根津甚八・石橋蓮司・大杉蓮・江守徹、他
協力／熊本県立装飾古墳館・㈱ブルックス

【鞠智城（きくちじょう）】7世紀後半、白村江の戦いで敗れた大和朝廷が逆襲に備えて築いた古代山城の一つ。太宰府の後背地に造られた兵站基地と位置づけられ、大野城や基肄城に食料や武器を補給し、支援の兵士を送り込む役割を担い、東国からの防人達も任務についていたと思われる。昭和42年から発掘調査され、八角形建物跡、貯水池跡、貯木場跡が検出され、木簡も出土。昨年10月には7世紀後半の百済製と見られる携帯用の青銅製仏像（念持仏）も国内で初めて出土した。百済の亡命貴族による築城を裏付ける、考古学上貴重な発見という。眼下に広がる菊池平野に沈む大きな夕日に、遠く故郷を離れた防人たちは何を想い眺めたことだろうか。熊本県北部、山鹿市菊鹿町米原を中心に、一部は菊池市堀切に及ぶ「歴史公園鞠智城」へは熊本交通センターからバスで約60 分、菊池プラザ下車。タクシーで約 5 分。入場無料。

＊＊＊

“さきもりまつり 2009”を開催へ

■と　き：2009年10月25日（日）
■ところ：“府中・大国魂神社”から“多摩よこやまの道”まで

※詳細は次号（第 13 号）でお知らせします。

お知らせ

2009年度定期総会

■5月24日（日）14：00～16：30
■会　場：多摩市立関戸公民館大会議室(予定)
(VITA：8F/聖蹟桜ヶ丘駅西口から徒歩3分)
☆一部：総　会14：00～
☆二部：講演会15：30～
「変ぼうする多摩を見つめて」
講師：横倉舜三氏
(多摩ニュータウンタイムズ社主)

＊＊＊

会費納入のお知らせ

2009 年度の年会費納入の時期になりました。年会費 3,000 円(ご家族は 2 人で 3,000 円) をお早めに納入願います。

※新規団員受付中！

年会費は 3,000 円(4/1～3/31) 但し、10 月以降入会は年会費 1,500 円

【お申し込み方法】
郵便振替用紙の申し込み欄に必要事項をご記入の上、**年会費(3,000 円)**をお振込みください。(10 月以降 1,500 円)
尚、ご夫婦・ご家族で入団の場合は、家族会員として 1 口分で OK です。
(例) 家族会員がご夫婦の場合は
2 人で会費 3.000 円

【振込先】
☆口座名/歴史古街道団
☆郵便振替口座番号
00140-7-445195

※入団等に関するお問い合せは事務局まで
☎042-389-5534

①丹沢山系最高峰・蛭ケ岳　②田端環状積石遺跡(町田市小山)　③多摩ニュータウンNo.72 遺跡、No.107 遺跡（八王子堀ノ内）　④稲荷塚古墳（7世紀初、八角型古墳、多摩市百草）　⑤国府八幡宮（府中市）

多摩の昔ばなし ④

草葺きの屋根

井上正吉著
『野翁小咄』より

今の世の人々は豊かで家の屋根も大体は瓦葺き、亜鉛板、スレート、中には銅板葺きの豪華なものもあるけれども、昔は殆どが萱葺きであった。然し同じ草葺きと言っても、総萱葺きで三十年、或いはもっともつ屋根もあれば、貧しく麦桿葺きで二、三年ですぐ腐って雨の漏る屋根もあるのである。雨が漏るのは誠にわびしいもので、仕方なく桶やらたらいを置いて水を受ける。ポチャンポチャン、この音はなんともやりきれない。

屋根の葺き替えは地元に職人もいたが、会津からくる人々は集団で、今で云う出稼ぎの一種であったろうが、その技量はすばらしく見事なものであった。

葺き草は総葺き替えの場合は二、三年も掛けて貯蔵したものである。山野の一部にもこの為の萱場があった。

さて葺き替えの家では丸太で足場を組む、そして渡りの板を掛ける。足場となる丸太などもこの為丸太小屋で保存し、中には屋号がかかれていた。それはご近所の葺き替えの時、貸してあげ、間違いのないようにしたのである。藁の縄も莫大な量なので、前もって用意して置く。

2009年春から夏の歴史ロマン古道予定表（一部計画中を含む）

注）問合せ欄；(団)＝歴史古街道団、【協力団体】(里)＝鎌倉古道さとびとの会。旅行以外は事前の申し込みは不要です。
探索・学習テーマ欄；歩＝宮田太郎ウォーキング、学＝講演会／学習会、ガイド＝ガイドリーダーウォーク　　09/02/25更新

月日	集合場所･時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
3月10日(火)	東急田園都市線「二子玉川駅」改札口前 09:00	【ガイド】日本書紀「武蔵国造の争乱」の地・古代南武蔵の原風景を求めて	団員:500円 一般:700円	当日	(団)佐藤 042-373-3193
3月14日(土)	京王相模原線「稲田堤駅」北口改札口前 09:30	【ガイド】築井（津久井）紀行　小山田与清の道をだどる－Ⅳ、寿福寺～小沢城編	団員:500円 一般:700円	当日	(団)横田 090-8516-3041
3月24日(火)	京王線「笹塚駅」改札口前 10:00	【歩】下北沢の鎌倉街道と玉川上水大曲を歩く	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
4月1日(水)～3日(金)	問い合せ	【旅行】奥飛鳥のキトラ古墳と高野山・吉野の桜・紀ノ川の旅、主催＝朝日カルチャー	問い合せ	〆切 3月20日	(郵船)諸井 TEL03-5213-6237
4月4日(土)	京王線「東府中駅」北改札口前 09:00	【ガイド】大宮氷川神社の府中出張所の謎と武蔵国府誘致？の豪族を探る	団員:500円 一般:700円	当日	(団)佐藤 042-373-3193
4月12日(日)	小田急線「本厚木駅」中央改札出て左の広場 09:30	【歩】厚木高松山の前方後円墳大調査－① 高松山古墳と甲州武田家臣・跡部氏館	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
4月16日(木)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前 10:00	【歩】野の花咲く“小山田の奥州古道”と六部塚伝説、講師：宮田太郎	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
4月22日(水)	小田急線「本厚木駅」中央改札出て左の広場 09:30	【歩】厚木高松山・前方後円墳大調査② “天神山古墳と登山古墳”編	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
5月5日(火祝)・6日(水祝)	5日／小田急線「本厚木駅」中央改札出て左の広場 09:30 6日／現地13:00	【測量会】ゴールデンウィーク特別企画、古代測量台ロマン！！高松山古墳大調査会	500円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
5月14日(木)	東急田園都市線「あざみ野駅」改札口前 10:00	【歩】横浜青葉区の家形横穴古墳の里と早渕川古道、講師：宮田太郎	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
5月18日(月)	小田急多摩線「黒川駅」改札口前10:00	【歩】古代の伝説“汁守・飯守・菜守神社”の謎	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
5月23日(土)	JR横浜線「橋本駅」 改札口前 09:30	【ガイド】蝦夷地に渡った文翁和尚の津久井光明寺を訪ねる	団員:500円 一般:700円	当日	(団)小林 090-6516-8161
5月24日(日)	関戸公民館8F大会議室（VITA8F）（聖蹟桜ヶ丘駅西口～徒歩3分） 総会　14:00～、講演　15:20～	【総会】歴史古街道団２００９年度総会 総会後、講演『変ぼうする多摩を見つめて』、講師 横倉舜三氏（多摩ニュータウンタイムズ社主）	－	－	(団)宮田 TEL042-389-5534
5月25日(月)～28日(木)	問い合せ	【旅行】海の道・済州島の遺跡と徐福伝説の浪漫を求めて、主催：ＮＨＫ学園	問い合せ	〆切 4月25日	(郵船)諸井 TEL03-5213-6237
5月30日(土)～31日(日)	問い合せ	【旅行】飛鳥山辺の道と邪馬台国ロマン、 主催：ふろむな倶楽部	問い合せ	問い合せ	(団)宮田 TEL090-7002-3431
6月6日(土)	JR横浜線「相模原駅」改札口前 09:45	【歩】道保川の湧水地と亀ヶ池八幡伝説を歩く〔相模野〕	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
6月9日(火)	東急田園都市線「市ヶ尾駅」改札口前 10:00	【歩】大眺望！鶴見川の川和八幡と月出松の川和富士、講師：宮田太郎	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
6月20日(土)	JR横浜線「古淵駅」 改札口前 09:30	【ガイド】木曽宿に古代東海道夷参道と御尊櫃御成道を探る	団員:500円 一般:700円	当日	(団)中丸 042-676-3724
7月1日(水)	小田急線「本厚木駅」中央改札出て左の広場 09:45	【歩】厚木の古墳を知ろう！“地頭山古墳・愛甲大塚古墳”編	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
7月10日(金)～12日(日)	4月10日頃 詳細決定見込み	【旅行】フットパス交流ツアー、伊豆大島の鎮西為朝伝説と“あした穂”咲く島・大探検	4月10日頃 詳細決定見込み	〆切 6月10日頃	(団)宮田 TEL090-7002-3431
7月14日(火)	JR中央線「三鷹駅」改札口前 09:00	【ガイド】水辺の道 江戸用水シリーズ－Ⅰ、玉川上水下流域の半日文学散歩	団員:500円 一般:700円	当日	(団)佐藤 042-373-3193
7月22日(水)	関戸or永山公民館の予定 13:30～15:30	【学】期待される歴史古道ガイドリーダー＆コーディネーター養成に向けて	団員:500円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
8月4日(火)	モノレール･西武拝島線「玉川上水駅」改札口前 09:00	【ガイド】水辺の道 江戸用水シリーズ－Ⅱ、玉川上水中流域の半日歴史散歩	団員:500円 一般:700円	当日	(団)佐藤 042-373-3193
8月20日(木)	関戸or永山公民館の予定 13:30～15:30	【学】“里みち”から始まる大人の豊かなる嬉し・楽し遊び術	団員:500円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
8月29日(土)～30日(日)	関東地区からは8月28日(金)出発予定	【旅行】北海道フットパスの集い、歩こう北海道！上富良野フットパスの道	問い合せ	〆切 8月中旬	(団)宮田 TEL090-7002-3431

編集後記　年明けのウォーキングは寒い中ではありましたが沢山の参加を頂き、団長の語りも一層弾み快調に進んでいます。新年度の会費納入の時期になりました。別掲の通り会費納入をよろしくお願い致します。今年も元気に歩きましょう！

編集責任：歴史古街道団広報部（河村・金子・遠藤）

【発行】歴史古街道団
事務局：〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 4-36-21 APT1･2･3-302
宮田太郎（歴史古街道団団長）　TEL/FAX　042-389-5534
http://homepage3.nifty.com/kokaido/

さきもりまつり2008・写真集

2008年11月23日(日・祝)実施

武蔵国衙跡～大国魂神社～大谷戸公園(メイン会場)～多摩よこやまの道(防人見返りの峠)

午前の部

左から防人２人・防人部領使・女官・大伴家持・国司・防人５人・兵士（武蔵国衙跡・府中市）

防人の出立式（武蔵国衙跡・府中市）

防人の道・古代東海道ウォーキング、いざ出発！
（大国魂神社・府中市）

出立式を終えて旅立つ防人部領使と防人たち（大国魂神社・府中市）

古代東海道・打越山遺跡の解説をする
宮田団長　（打越山遺跡付近・多摩市）

解説をする中丸団員（春日神社・多摩市）

メイン会場・大谷戸公園（休憩・昼食）

抽選会当選者に景品を渡す宮田団長

歌手・しまだあやさんの野外コンサート

休憩時間は手作りのお店が人気！

午後の部

防人の妻や子も登場して午後の部開始（大谷戸公園・多摩市）

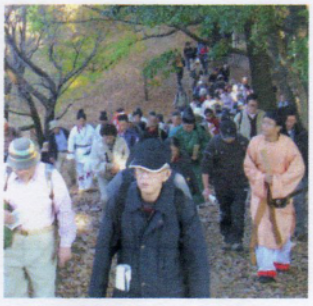
ふるさとを振り返る防人（多摩市聖ヶ丘付近）

“防人見返りの峠”に立つ防人（多摩よこやまの道）

赤駒を山野に放し捕りかにて
多摩の横山徒歩ゆか遣らむ
万葉集（巻二十・四四一七）

夫の後を追う防人の妻たち　～後方は多摩ニュータウンの街並み～
（多摩よこやまの道）

秋の陽射し溢れる
木漏れ日の道
多摩よこやまの道



小菅さんが吹く笛の音は、“防人見返りの峠”へと導く・・・

別れの峠は近い・・・　（多摩よこやまの道）

出演者揃って、お疲れ様でした～（防人見返りの峠）